

2019年12月18日
日本船主協会 海事人材部

商船系5高専と人材確保タスクフォースの連絡会を開催

日本船主協会では2008年7月より「人材確保タスクフォース(TF)」を結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

この度、2019年12月3日(火)に関連教育機関のうち、商船学科を持つ国立高等専門学校(高専)5校との連絡会を開催しました。

人材確保TFは、発足以降、商船系5高専(広島商船高等専門学校、富山高等専門学校、弓削商船高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、大島商船高等専門学校)との間で、定期的に人材確保TFの活動や高専の現状について意見交換を行っています。

今年度は、12月3日(火)に、商船系5高専および人材確保TFメンバー会社6社の参加のもと、標記連絡会を開催しました。

初めに、合同進学ガイダンスについて、本年度の振り返りを行うとともに、来年度の開催方針について議論を行いました。今年度も、昨年同様、神戸・横浜の2会場で開催したところ、189名が参加し盛況であったことから、来年度も同様の開催方針で実施することに合意しました。

その後、商船系5高専に関する活動について事務局から報告がありました。どの事業も大変好評であり、今後も5高専の次世代海事人材育成プロジェクトほか様々な活動への協力を行うこととなりました。また、新作DVDも上手く活用しながら、広報活動に取り組む重要性が確認されました。

当協会の人材確保TFでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



連絡会の様子



議論を取りまとめる中島副会長(TF座長)